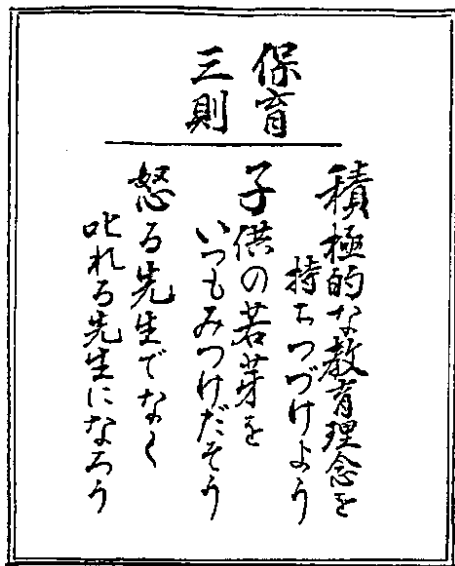


# 建学の精神(園是)



昭和42年(1967年)  
さくら学園として開園

## さくら学園 経営理念

全教職員の物心両面における幸福こうふくを追求すると同時に  
地域社会と調和し貢献すること

園児が安心して園生活を過ごすには、教職員の心身の安定が重要です。安心してやりがいを感じることでできる職場環境作りを目指します。一人一人の仕事への熱意と情熱を引き出せる経営を実践し、地域社会の中で認められる存在となり、社会に貢献できる人材を育てることを使命とします。

## さくら学園 教育理念

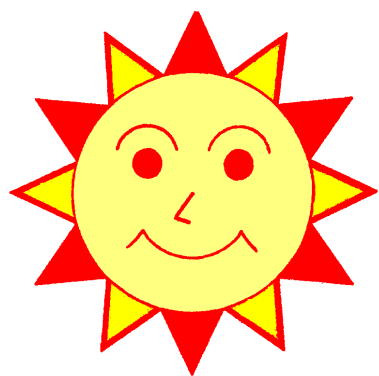


学校法人さくら学園は 未来に活躍する子供たちが

幸福しあわせを築くための根っこの部分をしっかりと創る教育を行います。

おひさまのように、子供ひとりひとりにたっぷりとひかりを注ぎます。

根を養えば樹は自ら育つ、との格言通り、乳幼児期は人生の根っこの部分を作る大切な時期と言えます。保育園と幼稚園を運営する学校法人さくら学園は、豊かな体験活動を通して技と知恵と体力を身に付けることにより、未来に活躍する子供たちの幸福の基盤を創ります。



## さくら幼稚園の教育活動の基本理念

- ・教えられたことは 時とともに忘れる  
体験したことは よく理解する
- ・自ら気づき発見したことは 生きる力となる
- ・幼児期から身につけた 技と知恵と体力は  
幸せを築く 一生の財宝となる

## みどりご園・たんぽぽ保育園基本理念 [モットー]

大切なお子さまを まごころ込めてお預かりいたします  
「わが子をこんな保育園入れたい、こんな保育をしてもらいたい」という親の願いを叶えられる保育園を作ろう! というのが設立の原点です。みどりご園は0・1・2歳児 30名(小規模低年齢児保育施設)でスタートしましたが、現在は0歳から就学前まで100名を超える乳幼児の施設となりました。0・1・2歳児は、毎日の基本的な生活と保育と養護が中心ですが、3歳児以上には、保育と幼児期教育のバランスのとれた活動を行います。たんぽぽ保育園は、0・1・2歳児の施設で、みどりご園・さくら幼稚園と連携した保育を行います。

## 教育と保育活動の5本の柱



- ・体力作り [毎日の乾布まきつとミニマラソンで丈夫な体とチャレンジする意欲を育てます。]
- ・自然、農園活動 [自然の中での体験活動で五感(視・聴・臭・味・触)を刺激し、生きる喜びを感じます。]
- ・リズムと美術教育 [専門講師による本物に触れる体験を取り入れ、豊かな感性を育てます。]
- ・食の教育 [食べ物を選ぶ力、本当の味がわかる力、食べ物の匂や季節を感じる力を育みます。]
- ・言語の教育 [言葉や数の学習は、幼児期の脳の発達をうながします。英語教育は幼児期こそ大切です。]



## さくら幼稚園教育目標

- ・よく遊び よく食べ 元気いっぱい
- ・丈夫で ねばり強いからだに
- ・たくましい 自律とチャレンジのこころを
- ・知恵のわいてくる 行動力を
- ・それぞれの顔 人間性ゆたかに



## みどりご園保育目標

- ・明るく 元気に すくすく伸びよう  
育児経験豊富な保育士を中心とした職員の態勢で、家庭的で安心できる雰囲気を大切にします。
- ・それぞれの顔 心と心のふれあい豊かに  
ひとりひとりの年齢・月齢に添って、基本的な生活習慣やしつけを身に付けていけるように、家庭との連携を取りながら保育を進めます。
- ・遊ぼう 食べよう 丈夫なからだ  
子供たちの健やかな成長に添って、伸び伸びと遊べる環境を作り、「食べることは生きること」の食の原点を伝え、心身のバランスのとれた発育を目指します。

## たんぽぽ保育園保育目標

- ・おいしく食べて 元気な子  
安全で安心できる食材を愛情込めて調理し、楽しい雰囲気の中で給食を提供します。
- ・ぐっすり眠って丈夫な子  
大人も子供も「眠り」は、生きていく上で大切です。生活リズムを整え、安心して眠れる環境作りをしていきます。
- ・元気に楽しく遊べる子  
年齢ごとのベビーマッサージ、外気浴、散歩、遊びを取り入れ、丈夫な身体を作ります。